



Title	井戸さんと同じ世代を生きてきた仲間として
Author(s)	清水, 多實子
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100727
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

井戸さんと同じ世代を生きてきた仲間として

清水多實子

元大阪府保健師

元白鳳女子短期大学専攻科地域看護学専攻教授

今回、故井戸氏の追悼文の依頼を受け、初めてお亡くなりになったことを知りとても悲しい気持ちでいっぱいです。

いつものようにお元気に過ごされていると思っていたもので、お聞きしたときは信じられませんでした。何よりもあの優しいお顔、笑顔、そして語り口を思い出します。

井戸さんとは、同じ世代を生きてきた仲間でした。私たちが現職の頃は、2004年(平成16年)支所が廃止されるまで、大阪府の保健所は22保健所7支所の時代でした。

何しろ大所帯の組織の中で、井戸さんと同じ職場になったことは確か1回だったと思いますが、その後いろいろなところでお顔を合わせることが多くあり、何かとお世話になりました。

退職後、白鳳女子短期大学専攻科地域看護学専攻で後輩の教育に携わることになり、当時愛隣地域でご活躍されていた井戸氏に「地域を見る」「地域を知る」「住民の生活を知る」など、公衆衛生看護の基礎を学ばせるためにもお力添えをいただきました。

井戸氏の計らいで逢坂先生にもご講義をしていただき、その後実際に愛隣地域での実習においても、井戸氏のご協力のもと地域の実態を見てご講義をしていただきました。労働者の指導をされていた方とのつながりもしていただき、学生のみならず、私たち教員も改めて多くのことを学ばせていただきました。

教員生活を終えてからも、公衆衛生協会のイベント案内をいただき、私的には年賀状のやり取りを一昨年までしており、いつもお元気なお姿を、写真を通して見ておりました。

本当に亡くなられたこと、いまだに信じられない...

「やあ、清水さん元気にしてる?」って、谷町あたりでお会いできるような気持ちです。

最後になりましたが、心より感謝申し上げご冥福をお祈りいたします。